（様式N）

（海外特別研究員事業）

外国出張日程表

**≪外国出張計画変更書・N外国出張日程表　記入例（一時帰国）≫**

採用年度： 令和5年度　　　　　受付番号：202360999

氏名：学振　太郎

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　月　日 | 出　　発　　地 | 到　　着　　地 | 宿　　泊　　地 | 研究従事機関等及び用務 |
| R5.6.2 |  | 成田 | 東京 |  |
| R5.6.3～R5.6.5 |  |  | 東京 | 学会・会議等への参加（学会・会議等名称） |
| R5.6.6 | 東京 | 京都 | 京都 | 移動日 |
| R5.6.7～R5.6.9 |  |  | 京都 | 研究課題に関する研究実施（実施研究機関名） |
| R5.6.10 | 京都 | 東京 | 東京 | 移動日・私用 |
| R5.6.11 | 成田 |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

（注） ①出発地、到着地、宿泊地には都市名を記入してください。

②旅行期間（日本出国日から帰国日まで）を記入してください。なお、派遣期間の開始日に日本を出発し、派遣期間の終了日に日本に到着するようにしてください。

（一時帰国の場合）一時帰国期間（日本到着日から日本出国日まで）のみを記入してください。

（付加用務の場合）付加用務期間分も記入し、研究従事機関等及び用務欄に「付加用務」と明記してください。

③航空機による移動の最中に日付が変わる場合は、宿泊地の欄を「機中泊」とし、移動両日を記載してください。

④派遣開始時点で既に用務地に渡航済の場合は、出発地欄に「渡航済（往路放棄）」と記入してください。

⑤派遣終了後も派遣先国に滞在する場合は、出発地欄に「派遣国に滞在（復路放棄）」と記入してください。